



平田のみんなの情報誌

ひらた から



1月29日(日) げんきっぴらたで「お正月遊びをしよう!」を開催
コマ回し・百人一首・福笑いなど、いつもと違う季節遊びを楽しみました♪

No.93
2023. 3

第5回「平田の田園風景」写真コンテスト結果発表!

平田の田園風景～四季の風景・行事・暮らし～をテーマに募集しましたところ、20名の方から総数36点の作品が寄せられました。1月26日(木)、平田コミュニティセンターで審査会が開催され、最優秀賞1点、優秀賞3点、入選10点が選ばれました。審査員長の大谷洋史さんか

らは、回を重ねるごとに写真のレベルが上がっているとコメントをいただきました。

次回も、素晴らしい写真を期待しています。



最優秀賞 「舞い上がれ」

高橋 勲さん



優秀賞 「桜へハイタッチ」

井上 紀和さん



優秀賞 「晩秋の頃」

鈴木 栄子さん



優秀賞 「秋景」

高村 利和さん

☆ 入賞作品は、平田コミュニティセンターロビーで展示していますので、ぜひお立ち寄りください。

大人気!「みぞっちといっしょ」

2月8日(水)、すずかけっこでは「みぞっちといっしょ」を開催しました。

今回は8組18人の親子が参加してくれました。ペープサート(コンコンクシャン)・鬼のパンツなど楽しく歌を歌ったり、手遊びをしました。最後には大型紙芝居をみんなで楽しみました。

毎月いろんな歌や手遊び・パネルシアターなどがあります。機会があれば、親子で参加してみてください。



協働でよみがえる瓶割山再生プロジェクトの活動

主な活動は、山裾の雑木、雑竹刈りとチップーでの粉碎と整備、瓶割山城跡までの散策道、城跡の下草刈り、筍切りなどの作業、尾根には八幡山、観音正寺、箕作山、安土山などを望む展望台に、昨年、平田地区まちづくり協議会の協力を戴いて案内板も設置することが出来ました。おかげで週末には多数のハイカーが訪れるようになりました。

里山の原風景を取り戻したいと言う、住民の思いを実現出来るように整備し、自然とふれあい、森林セラピーができる、やすらぎの場になるよう取り組みたいと思っています。



ダンゴ山付近の竹チョッパ粉碎と整理



観音さん入口付近での竹出し懐かしい大八車で



ポーラス竹炭加工(消防署許可済)



沼地区、コスモス畑にした所に気球が舞い降りてきた

地域子育て支援拠点 つどいの広場

「すずかけっこ」



☆ひなまつり製作WEEK☆

日時 2月22日(水)～3月3日(金)

好きな時間に作っていただけるよう製作コーナーを設けています。

☆栄養士さんのおはなし会☆

日時 3月1日(水) 10:30～11:30 大ホール 12組(予約制)

テーマ 「お食事のお悩み、色々相談会」

講師 管理栄養士 大田先生

食事に関する悩み、離乳食に関する悩み、疑問に思うことなど、抱え込まずに先生に聞いてみましょう!!

☆人形劇団クラルテ☆

日時 3月8日(水) 10:30～11:30 大ホール 親子20組(予約制)

「モンモとバンボはいつもいっしょ・ポケットのワンピース」

(2つ合わせて上演時間約30分)

タオル人形作りのワークショップ 約30分

☆みぞっちといっしょ☆

日時 3月22日(水) 10:30～ 8組(予約制)

絵本・パネルシアター等、みぞえさんと一緒に親子で楽しみましょう!!

皆さんのお越しをお待ちしております。

☆子育て相談日☆

日時 3月24日(金) 11:00～

子育て相談員(コンシェルジュ)が相談にのってくださいます。

事前予約も可能です。お気軽にお越しください。

※詳しくは、つどいの広場すずかけっこまで、お問い合わせください。

※予約制のイベントは定員になり次第締め切ります。

※イベント日の午前中は、ご予約いただいた方のみご利用できます。

※新型コロナウイルスの感染状況により、急遽中止になる場合がございます。

ご了承ください。

◇編集後記◇

1月末には想定以上の降雪に見舞われました。その雪が解けたところに気が付いたのですが、周辺にあった南天の実がすべてなくなっていました。雪に覆われて食物が無くなり小鳥たちに啄まれたようです。特にヒヨドリは好んで食べます。

家の近くに竹藪があり、メジロやホオジロなど多様な小鳥の姿を見かけることがあり春にはウグイスのさえずりを聞くこともあり、これらの小鳥を観察しようと餌台を作って、小鳥たちは甘いものを好むと本で読みドーナツを小さくちぎって用意しました。初めて現れたのはメジロでした。庭の山茶花の枝にとまり注意深く様子を見た後に餌台に留まりました。これを機に多くの小鳥たちが来てくれると期待していましたが、次に食べ物を見つけたのがカラスでした。大きな羽音をたてて舞い降りあつという間に用意した小鳥の食べ物を平らげました。その後、小鳥は一切寄り付かなくなりましたが、南天の実を置いておくと気づかないうちになくなっています。お

そらくヒヨドリでしょう。

私たちの住む平田地区には身近に人があまり手を加えていない樹木の茂る山や竹藪があり、多くの小鳥たちの姿を目にします。私は浅学で樹木や鳥の名前など詳しくはありませんが、学べばもっと周辺の自然の素晴らしさに気づくことが出来るのではと思います。特に子供達にその機会を作り自然の植生や生物などを学んでもらえば地域への関心を高めるだけでなく誇りを持つことになるでしょう。そのためには野鳥の会の会員や樹木の専門家に声をかけて大人も共に学ぶことが出来れば地域に対する思いを共有し自然環境への意識を向上させることができるのではと思われます。まちづくり協議会の事業として取り組む意義があるのではないのでしょうか。

(春待ち童子)